

東二幼だより



# どろんこ

学校法人 曾根学園  
東二番丁幼稚園  
令和5年度 7月号

梅雨に入り、雨の日はプレイルームや保育室で様々な運動遊具をつなげてサーキット遊びやままごと、ごっこ遊びなどを楽しみ、晴れた日には青空の下で4色の帽子がカラフルに混ざり合って遊んでいました。年中・長児が大型ブロックやどろんこで楽しく遊んでいるところに年少児が入って一緒に遊ぶ姿は微笑ましいです。そして先日から、幼稚園の公式 Instagram を始めました。園での子どもたちの様子を掲載しますのでどうぞ親子で楽しくご覧ください。

さて、6月は咳や発熱などで休む子どもたちが多い月でした。早くみんなが揃うことを願っています。コロナ禍の中で育った子どもたちはこれから少しずつ抗体をつけ、病気に負けない体になると思います。そのためにも「早寝・早起き・朝ごはん・体をいっぱい動かして遊ぶ」の生活リズムで免疫を高め、終業式まで元気に園生活が送れるようにしましょう。



## 七夕飾りを届けよう

子どもたちと七夕委員の皆さんが願いを込めて作成した七夕飾りを届けに行きます。当日も七夕委員さんに引率をお願いしています。

4日(火)

年長組：片平消防出張所



6日(木)

年少組：青葉区中央市民センター

年少組：東二番丁交番

年中組：仙台中央郵便局



## 七夕会

〈ねらい〉七夕の意味や由来を知り、夜空や星に興味をもつ。願いを込めながら七夕飾りを作り、伝統行事に触れる。

〈日 時〉7日(金) 9:40~

〈場 所〉プレイルーム

- 〈内 容〉①はじめのことば
- ②園長先生のお話
- ③七夕のうた
- ④願い事の紹介
- ⑤職員劇
- ⑥きらきら星のダンス
- ⑦おわりのことば



## 不審者侵入時 防犯教室

園内に不審者が侵入した場合の通報・指示を正しく聞き取り、安全に避難できるよう訓練を行います。

〈日 時〉11日(火) 10:00~

〈場 所〉プレイルーム

- 〈内 容〉①先生の話を聞き、次の指示を聞く。
- ②先生の指示に従って、安全な場所に避難する。
- ③「いかのおすし」の約束を覚える。



## 1学期終業式

〈日 時〉20日(木) 9:40~

〈場 所〉プレイルーム

- 〈内 容〉①はじめのことばと礼
- ②園歌斉唱
- ③1学期の楽しかったこと  
(にし組代表園児より)
- ④園長先生のお話
- ⑤体操「みんなでぐんぐん」
- ⑥おわりのことばと礼



※給食を食べ、通常通りの降園になります。

## 夏季休業中の預かり保育について

- 夏季休業期間中の預かり保育の計画を立てたいと思います。つきましては、**夏季休業期間中(7月・8月)**に一時利用を希望される方は、**7月7日(金)朝まで**に一時利用の申込書の記入をお願いします。また、新たに8月の月契約を希望される方は、7月5日(水)までに預かり担任までお知らせください。
- 給食を希望される方(月契約・一時利用ともに)も、**夏季休業日給食申込書と代金を園児名を記入したお手持の封筒に入れて7月7日(金)朝まで**にご提出ください。(給食申込書は職員室でお渡ししています)
- 送迎門の施錠については、防犯と安全面を強化しております。そのため **10:00~11:30 と 12:00~15:30 まで施錠しています**。また出入りの際は防犯上、必ず2ヶ所の鍵を閉めていただくようにご協力をお願いします。**鍵の開け閉めは保護者の方が行ってください**。
- 登園時間 8:00~9:50、お昼寝 13:30~15:00、その後おやつ時間の予定です。**降園時間については昼食前の 11:30 又は 15:30 以降でお願いします**。(月契約・一時利用ともに)
- 利用する際には、利用時間にかかわらず**水かお茶をいれた水筒**を持たせてください。
- 夏季休業期間中に預かり保育を利用する場合は、**各保育室を通らずに、プレイルームからお入りください**。
- 水遊び時の着替えの用意については、後日お知らせします。
- 8月10日(木)~8月16日(水)の期間はお盆休み**なので、預かり保育もお休みです。
- 2学期開始時(8月25日(金)~8月31日(木)分)の一時利用申込みは、1学期終業式の日までに済ませていただきますようご協力をお願いします。



## 園長のひとりごと ~ 子ども時代に育つ「非認知能力 = 根っこの教育」~

先日の宮私幼 PTA 連合会総会において、「非認知能力」についての講話があったと、総会に出席して下さったつくしの役員さんからご報告をいただきました。非認知能力(社会情動的スキル)とは、難しいことにも挑戦する力、粘り強くやり遂げようとする力、友達と協力しながら頑張る力というような能力になり、これは4歳くらいからぐんぐん伸びはじめ、幼児期に大きく育まれます。大人になってからでは身に付けるのが難しい脳の働きの生理的メカニズムです。問題に直面した時、すぐに諦めてしまうか、粘り強く頑張るか、という違いは、将来において当然大きな差を生むこととなります。

物事に粘り強く取り組むには、2つのポイントがあります。1つはそれが“やりたいこと”であるということ。子どもは自分の**やりたいことを実現するために、物事に粘り強く取り組む**ようになっていきます。もう一つは、**自分の気持ちを調整することができる**ということ。飽きてきたり、嫌になったり、疲れたりした時に自分を励ます力は幼児期から働いています。その気持ちを支えてくれるのが、友達の応援や先生、保護者の見守りです。幼稚園の先にある学校や職場は、未知の問題に挑戦していく世界です。経験のないことや自信のないことに、大人たちが向かっていけるのは「頑張ってきた」という子どもの頃からの記憶や、家族や友達、先生の励ましなどが積み重なって「非認知能力」を獲得してきた結果なのです。